



“学びの森”だより

観音様 「音」を「観る」ってどういうこと？



今年は、さわやかな五月晴れが続きました。それどころか、この季節に熱中症と騒がれるほど好天に恵まれました。そんな中、中学校では、「京都、奈良」への修学旅行がありました。小学校でも、鎌倉への社会科見学がありました。きっと、たくさんのお寺を巡ったことでしょう。

ところで、慈悲の仏様である「観音様」は、どうして「音を観る」と書くのでしょうか。音は聞く（聴く）ものですよ。ね。「聞音菩薩、聴音菩薩」となるはずですよ。おかしいと思いませんか。実は、それには意味があるそうです。本当に苦しんでいる人は、声が出ないといいます。「うっ」しか出ないことってありますよね。だからこそ、その人の苦しい表情、悩む姿をしっかりと見てあげること、その人の心の奥底を見てあげることだそうです。さらに、「見る」よりも、もっとしっかりと見ること、つまり「観る」ということが、大切なことのようにです。

阪神淡路大震災のときのことで。ある方からこんな相談を受けました。「あのとき、母が家の下敷きになり動けなくなってしまいました。しばらくすると火の手が上がりました。母は手を差し出し何かを言っています。でもすさまじい音で聞こえません、「助けて？」と言っているような気がしました。でも近所の方に、『逃げなさい』と言って体を引きずられ、その場を立ち去るしかありませんでした。でも、あのとき、母はもしかしたら「お母さんのことはいいから、あなたは逃げなさい。」とつぶやいていたような気がします。どちらでしょうか。私は答えられませんでした。でも、お母さんの姿を観てそう感じたのでしょうか。そう思わなければ生きてこれなかったのかもしれない。でも、そう思えるような家庭に育ったのかもしれない。自分の母はそう言うだろうなと思える母に育ててもらえたと思えるなんて、こんな嬉しいことはありませんよね。まさに、そのときの母の心のつぶやき「声」をしっかりと観たんですよ。やはり声（音）は観るものなのかもしれません。

さて、話は変わって、学校もこれと同じことがあるような気がしました。先生方は、できるだけたくさんの子どもの思いに寄り添い、手助けをすることが使命です。そのとき、手を挙げて自己主張する子にばかり目が行きます。もちろん自分の考えを表現するために発言する方法は素晴らしいことです。私も、たくさんの子が発表すると、なんだか嬉しくなって、その勢いで授業を進めてしまったことがありました。が、中には、悩み困っていて自分の思いが言えない子もいますよね。そんな子にも寄り添いたいものです。そう考えると、その子の内なるつぶやき・表情を色々な角度（十一面観音）から観て、すべての子を一人漏らさず（千手観音）助けてあげることが大切です。たくさんの子が発表している中で、静かにしている子もしっかり観ていきたいものです。

（文責 松山充彦指導員）

外国語研修会

5/16(木)、生涯学習センターを会場に、第1回外国語活動リーダー研修会が開催され、各校1名ずつ(外国語活動推進リーダー)とALT3名が参加しました。指導校長の須山中学校飯塚由美子校長からは、子供のために(小・中)共に繋がり、持っている力をさらに伸ばしていこう、というお話がありました。

中学校区ごとにわかれたグループワークでは、小学校ではどんな活動や研修をしているか、文法を習う中学校ではどのように先生と生徒が関わっているか、子供たちに身に付いている力や取組について情報交換しました。

<グループワークでの発表を一部ご紹介します>

- ・小学校では「音」を聞いてから「話す」。インプットをたくさんした上で、伝える姿勢を大事にしている。中学校は細かい文法を重視しているが、つながりの部分を大切にしたい。
- ・小学校で大文字・小文字の練習をしても定着まではしていないことを踏まえて、中学校では指導していく必要があるとわかった。
- ・間違ってもよい空気をつくる反面、正しく直そうとする生徒に対してどうしていくか。
- ・(ALT から) 打合せの時間が欲しい。授業の10分前や学年の代表の先生と授業の進め方など、コミュニケーションをとる時間が欲しい。(週1回でも良い)

英語を楽しく学び続ける子供を育てていくために、さらに小中の連携を深めていきます。

『学びの卵』10 外国語活動も御覧ください。



校内研修(須山小)

5/20日(月)、須山小の校内研修に参加しました。須山幼・小・中学校では、同じ視点に立って「聴く」力を大切にした研修を行っています。中心授業として芹沢育美先生の2年生「算数」の授業が公開され、授業を参観した3年生の児童から授業についての感想の発表もありました。全体会では各地の学校の授業の様子をビデオで流しながら、横浜国立大学名誉教授の高木展郎先生を講師に、具体的な場面を通して研修を行いました。

「Youカフェ」参加者募集!

毎年好評の、“教育論文の進め方”講座。今年は、東小の田代義人先生を講師にお迎えします。今年度、初めて教育論文に挑戦される方には特にお勧めです。

- ◆ 日 時：令和元年6月19日(水) 17:00~18:00
- ◆ 場 所：裾野市役所「地下会議室A・B」
- ◆ 内 容：「論文のススメ方」
- ◆ 持ち物：メモ、筆記用具等(普段の研修会に参加するときに用意していく物)



参加申込書

申込〆切り：6月7日(金)

学 校 名	氏 名	学 校 名	氏 名

* 申込は、このままFAX(055-995-4904)で、
学びの森へ送信してください。🐌



編集・発行：“学びの森”

〒410-1102

裾野市深良435番地(生涯学習センター2階)

TEL：055-995-4903

FAX：055-995-4904

<http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/data/2240002>